

日本史 建築・美術史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前

記事「日本史 建築・美術史の流れ | 仏像・書院造・障壁画・浮世絵を整理」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 飛鳥文化の仏像に見られる、中国の北魏の様式を受けた鞍作鳥の作風を何というか。

2 もと山田寺の本尊で、現在は興福寺に伝わる白鳳文化の仏像の頭部を何というか。

3 漆で麻布を何重にも固めて形を作る、天平文化で盛んになった仏像の技法を何というか。

4 弘仁・貞観文化の仏像に見られる、大小のひだを交互に表す衣の彫り方を何というか。

5 密教の仏の世界を、仏や菩薩を決まった形に並べて表した図を何というか。

6 平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像を造り、寄木造を完成させた仏師はだれか。

7 源氏物語絵巻に見られる、屋根や天井を取り払って室内を描く表現を何というか。

8 禅宗では、師が教えを伝えた証として弟子に自分の肖像画を与えた。この肖像画を何というか。

9 水を使わずに石と砂で山や水の流れを表す、室町時代に禅宗寺院を中心に作られた庭園を何というか。

10 本殿と拝殿を石の間でつなぐ、日光東照宮に代表される建築様式を何というか。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 古代の仏像について。

- ア 法隆寺金堂釈迦三尊像は、銅に金めっきをした金銅像である。
- イ 東大寺法華堂の日光・月光菩薩像は、粘土で作られた塑像である。
- ウ 東大寺法華堂の不空罽索観音像は、乾漆像である。
- エ 神護寺薬師如来像は、複数の木材を組み合わせた寄木造の像である。

12 鎌倉時代の寺院建築について。

- ア 重源は、宋の様式を取り入れた大仏様で東大寺を再建した。
- イ 東大寺南大門は、大仏様の代表的な建物である。
- ウ 禅宗様は、太い材を多く使う豪快な構造が特徴である。
- エ 蓮華王院本堂（三十三間堂）は、和様の代表的な建物である。

13 室町時代の建築と絵画について。

- ア 金閣は、足利義満が造営した北山殿の舍利殿である。
- イ 銀閣は、足利義政の東山山荘の観音殿である。
- ウ 東求堂同仁斎は、書院造の最古の遺構とされる。
- エ 雪舟は、宋に渡って水墨画を学び、帰国後に日本的な水墨画を完成させた。

14 江戸時代の絵画について。

- ア 俵屋宗達は、風神雷神図屏風を描いた。
- イ 尾形光琳は、宗達に学んで琳派を大成した。
- ウ 菱川師宣の見返り美人図は、多色摺の錦絵である。
- エ 東洲斎写楽は、1794年から約10か月の間に役者絵を残した。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 古代の建築・美術に関するできごとを年代順に並べなさい。

- ア 平等院鳳凰堂が建てられた。
- イ 東大寺大仏の開眼供養が行われた。
- ウ 法隆寺金堂釈迦三尊像が造られた。
- エ 中尊寺金色堂が建てられた。

16 中世から近世の建築に関するできごとを年代順に並べなさい。

- ア 足利義満が北山殿の造営を始めた。
- イ 日光東照宮の大造替が完成した。
- ウ 東大寺南大門金剛力士像が完成した。
- エ 織田信長が安土城の築城を始めた。

17 近代の美術・建築に関するできごとを年代順に並べなさい。

- ア 文部省美術展覧会（文展）が始まった。
- イ 東京美術学校が設立された。
- ウ 東京駅が完成した。
- エ 工部美術学校が開かれた。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 平安時代中期に寄木造が広まった理由を、当時の信仰にふれながら120字程度で説明しなさい。

19 明治時代の美術で、伝統美術の見直しと洋画の発展がどのように進んだかを、150字程度で説明しなさい。

第1部 一問一答

1 止利様式

法隆寺金堂釈迦三尊像が代表で、光背の銘によれば623年に鞍作鳥が造りました。銅に金めっきをした金銅像です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥・白鳳文化

2 興福寺仏頭

白鳳文化の彫刻として、薬師寺金堂薬師三尊像とあわせて覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／飛鳥・白鳳文化

3 乾漆像

東大寺法華堂の不空羂索観音像や興福寺の阿修羅像が代表です。粘土で作る塑像と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／天平文化

4 翻波式

1本の木から頭と体の中心部を彫り出す一木造とともに、この時代の彫刻の特徴です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／弘仁・貞観文化

5 曼荼羅

空海が唐から持ち帰った両界曼荼羅が基本で、神護寺の両界曼荼羅（高雄曼荼羅）が現存最古とされます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／弘仁・貞観文化

6 定朝

穏やかで優美な表情は定朝様と呼ばれ、日本風の仏像様式の完成とされます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国風文化～院政期

7 吹抜屋台

人物は引目鉤鼻で描かれています。源氏物語絵巻は12世紀前半の作です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国風文化～院政期

8 頂相

同じ鎌倉時代の、藤原隆信・信実父子による大和絵の肖像画（似絵）と区別して覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／鎌倉文化

9 枯山水

竜安寺の石庭や大徳寺大仙院の庭園が代表です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町文化

10 権現造

日光東照宮は1617年に創建され、徳川家光が1634年から大造替を行い、1636年にほぼ現在の社殿が完成しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代前期

第2部 正誤問題

11 エ

神護寺薬師如来像は弘仁・貞観文化の一木造の像です。寄木造は国風文化の時代に定朝が完成させました。

記事の該当箇所：比べて覚える（仏像の技法の表）

12 ウ

太い材を多く使う豪快な構造は大仏様の特徴です。禅宗様は細い部材を使い、屋根の傾斜が急で軒の反りが強いのが特徴です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／鎌倉文化

13 エ

雪舟が渡ったのは明で、1467年に渡り1469年に帰国しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町文化

14 ウ

見返り美人図は筆で直接描いた肉筆画です。錦絵は1765年に鈴木春信を中心に生まれました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代前期・後期

第3部 年代の並べ替え

15 ウ→イ→ア→エ

法隆寺金堂釈迦三尊像（623年）→東大寺大仏の開眼供養（752年）→平等院鳳凰堂（1053年）→中尊寺金色堂（1124年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 ウ→ア→エ→イ

金剛力士像（1203年）→北山殿の造営開始（1397年）→安土城の築城開始（1576年）→日光東照宮の大造替の完成（1636年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 エ→イ→ア→ウ

工部美術学校（1876年）→東京美術学校の設立（1887年）→文展（1907年）→東京駅（1914年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／近代

第4部 論述問題

- 18** 解答例：末法思想を背景に浄土教が流行し、貴族は阿弥陀堂や阿弥陀如来像を盛んに造らせた。定朝が完成させた寄木造は、複数の木材を組み合わせるので仏師が作業を分担でき、内部を大きくくりぬいて像を軽く割れにくくすることもできた。そのため大量の注文に応えられ、広まった。

採点のポイント：①末法思想と浄土教の流行、②定朝と寄木造（複数の木材を組み合わせる）、③分担による大量生産・軽く割れにくいという利点、の3点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国風文化～院政期、論述で使える要点

- 19** 解答例：明治初めの政府は工部美術学校を開いて西洋美術を取り入れたが、明治10年代には急な欧化への反省から伝統美術を見直す動きが強まった。フェノロサと岡倉天心の尽力で東京美術学校が設立され、天心はのちに日本美術院を結成した。一方、黒田清輝は外光派の画風を伝えて白馬会を結成し、洋画の発展を導いた。

採点のポイント：①工部美術学校と欧化、②フェノロサ・岡倉天心と東京美術学校・日本美術院、③黒田清輝・外光派・白馬会、の3点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／近代、論述で使える要点

記事：日本史 建築・美術史の流れ | 仏像・書院造・障壁画・浮世絵を整理 <https://lawcityblog.com/nihonshi-theme-kenchiku/>
問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。